

# 平成24年度瀬戸内海研究会議 瀬戸内海の環境保全・創造研究ワークショップ

## 学際的取組による「里海」実現に向けて

瀬戸内海研究会議の20年 —過去と現在、未来—

### 趣旨

瀬戸内海では、これまでの取組とその成果により、水質については一定の改善が見られています。しかし、沿岸における埋立て等の開発により、藻場・干潟が失われ、生育環境の悪化により、生物量が減少し、漁獲量の低下等の課題に直面しています。今後、生物多様性や漁獲量の確保、景観等の再生を進めて行かなくてはなりません。

このような中、瀬戸内海研究会議は、瀬戸内海の再生を目指して、1992(平成4)年に発足し、20年が経過しました。この間、毎年フォーラムやワークショップを開催し、瀬戸内海の環境保全をめぐる学際的研究・交流を推進するとともに、研究助成を行うなど、若手研究者の育成にも力を注いできました。また、瀬戸内海の再生に向けて、「瀬戸内海再生方策」を提言するとともに、「豊かな里海」の実現に向けた分野横断的取組を行っています。

今後さらに、瀬戸内海における里海創生を進めていくため、科学者と住民・NPO、事業者、行政が協働して、自然科学的知見をベースとした人文・社会システムとして再構築していくなど、総合的な取組の推進が、より一層求められているところです。

これまでの活動を振り返りつつ、学際的取組による「里海」実現に向けて、今後どのようなしくみで、何を行うかを議論します。

### 日時

平成24年10月26日(金) 13:30~17:00

### 場所

よみうり神戸ホール

神戸市中央区栄町通1-2-10 読売神戸ビル2階

TEL 078-334-7656

### 主催・後援

主催：瀬戸内海研究会議

共催：兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会  
NPO法人環境創生研究フォーラム

後援：瀬戸内海環境保全知事・市長会議  
社団法人瀬戸内海環境保全協会

### 定員

120名(先着順)

### 参加費

無料

### 参加申込方法

10月22日(月)までに裏面の参加申込書にご記入の上、FAX、郵送、Eメールにて、事務局までお申込下さい。

(参加証は発行しません。定員を超えた場合のみご連絡いたします。)

### お申込・お問い合わせ先

瀬戸内海研究会議事務局

〒651-0073

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館5階

(社)瀬戸内海環境保全協会内(担当：上坂)

TEL 078-241-7720 FAX 078-241-7730 Eメール：web@seto.or.jp



■ JR・阪神元町駅より徒歩約5分



# プログラム

## ■ 趣旨説明

13:30～13:45

柳 哲雄（九州大学応用力学研究所教授）

## ■ 個別発表（発表時間：1題20分）

13:50～15:50

(1) 里海の「豊かさ」を支える文化とは－歴史・民俗・景観・観光へのまなざし

井原 縁（奈良県立大学地域創造学部准教授）

(2) 瀬戸内海の再生をめざして－自然科学者の立場から

多田邦尚（香川大学農学部教授）

(3) 播磨灘の漁場環境と漁業から見た里海

反田 實（兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター所長）

(4) 海岸生物を用いた海域環境評価の取り組み－広島湾における環境変化

今村賢太郎（日本ミクニヤ（株）中国支店技師長）

(5) 「なぎさ海道」アマモ場再生プロジェクト

芳田利春（NPO法人アマモ種子バンク理事）

(6) 里海と法政策

荏原明則（関西学院大学大学院司法研究科教授）

## ■ 総合討論

16:00～17:00

コンビーナー：柳 哲雄（九州大学応用力学研究所教授）

パネリスト：井原 縁、多田邦尚、反田 實、今村賢太郎、芳田利春、荏原明則

（以上、上記発表者）

日時：平成24年10月26日（金）

場所：よみうり神戸ホール

**参加申込書（FAX 078-241-7730）**

（参加証は発行しません。定員を超えた場合のみご連絡いたします。）

所属	フリガナ 氏名	住所	TEL & FAX

ご提出頂いた個人情報本事業の目的以外には利用しません。